

## 論文審査結果の要旨

報告番号	甲創第 39 号	氏名	Lee Sanghoon
審査委員	主査	大井高	
	副査	山田健一	
	副査	田中直伸	

## 学位論文題目

Chemical Studies on Okinawan Marine Sponges *Agelas* spp.(沖縄産 *Agelas* 属海綿由来の新規二次代謝産物の構造研究)

## 審査結果の要旨

本論文は、海洋生物由来の医薬リード化合物探索研究の一環として、海綿動物由来の新規天然物の探索ならびに化学構造の解明を目的として行ったものである。世界中に広く分布する海綿動物のうち、沖縄産の *Agelas* 属の海綿動物に注目し、複数の個体の抽出エキスについて高極性成分を探索した結果、11 種の新規天然物の単離に成功している。これらの化学構造を、各種スペクトルデータの解析により明らかにしている。

単離した新規化合物のうち2種は、*N*-methyladenine 部分をもつジテルペンアルカロイドである。このうち *agelasmazine* A は、稀な(4→2)-*abeo*-clerodane 骨格を有していた。本骨格をもつジテルペンの海洋生物からの単離は初めてである。他の9種の新規化合物は、ブロモピロールアルカロイドと総称される化合物で、このうち *agesamide* C-E と命名された化合物は、*pyrroloketopiperazine* 部分と *aminoimidazolone* 部分をもつユニークな化学構造を有していた。さらに、*agesazine* A および B と命名された化合物は、一般的なブロモピロールアルカロイドに見られる *aminoimidazole* 部分が欠落した新規性の高い化学構造を有しており、これらの生合成経路についても考察している。

本論文の内容は、新規なものを含んでおり、かつ薬学的に重要である。以上の観点より本論文は博士論文として適当であると判断する。